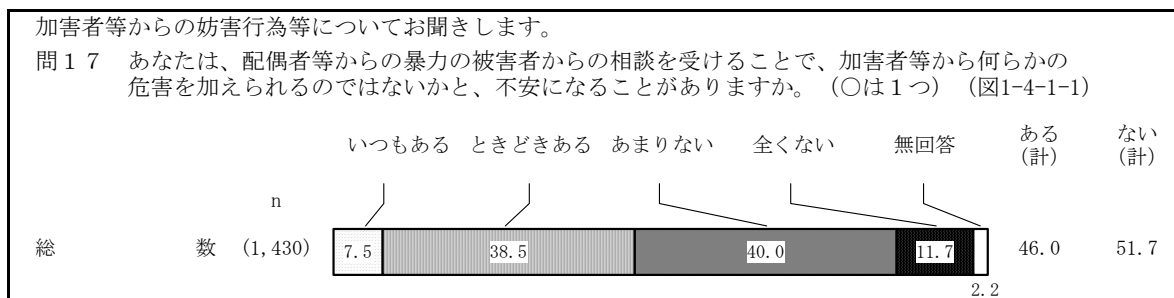


第4章 加害者等からの妨害行為等

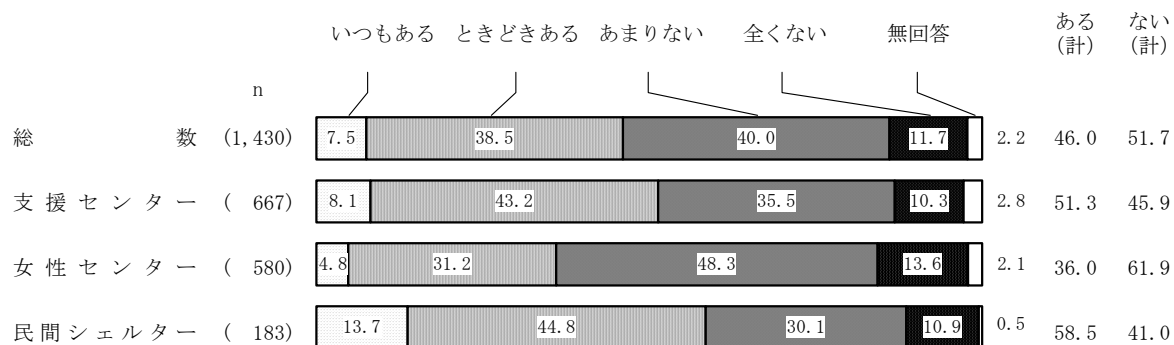
1 加害者等から危害を加えられる不安



加害者等から何らかの危害を加えられるのではないかと不安になることが「いつもある」（7.5%）という者は1割弱で、「ときどきある」（38.5%）という者を合わせると、半数近い者が不安を持っている（図1-4-1-1）。

施設属性別にみると（図1-4-1-2）、不安になることが「いつもある」という者は民間シェルター（13.7%）の相談員の1割強で、「ときどきある」（44.8%）という者を合わせると、6割近くが不安になることが『ある』と答えている。これに対して、女性センターの相談員で不安を感じるものが『ある』（「いつも」4.8%、「ときどき」31.2%）という者は4割弱で、6割強は不安になることが『ない』（「全く」13.6%+「あまり」48.3%）と答えている。

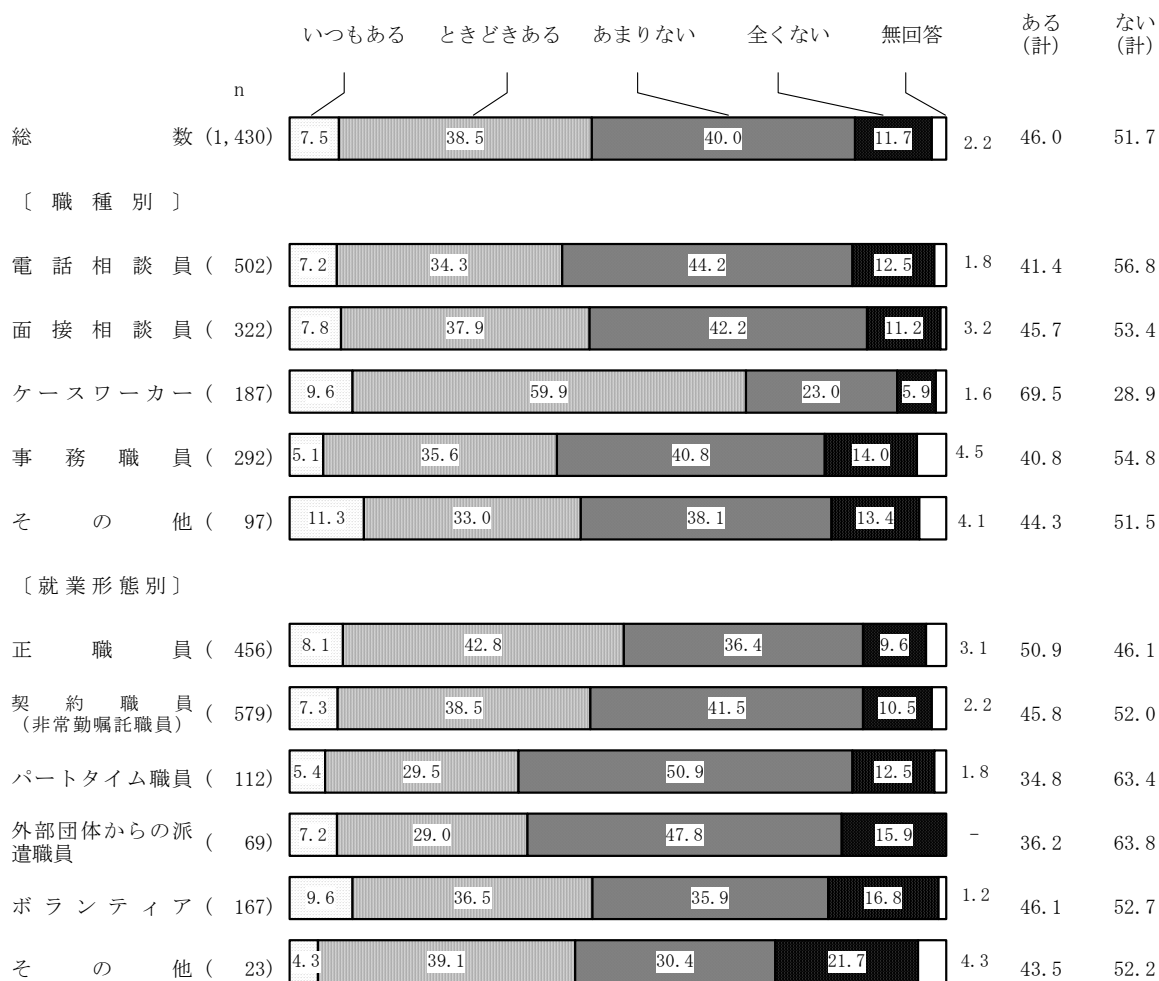
図1-4-1-2 加害者等から危害を加えられる不安（施設属性別）



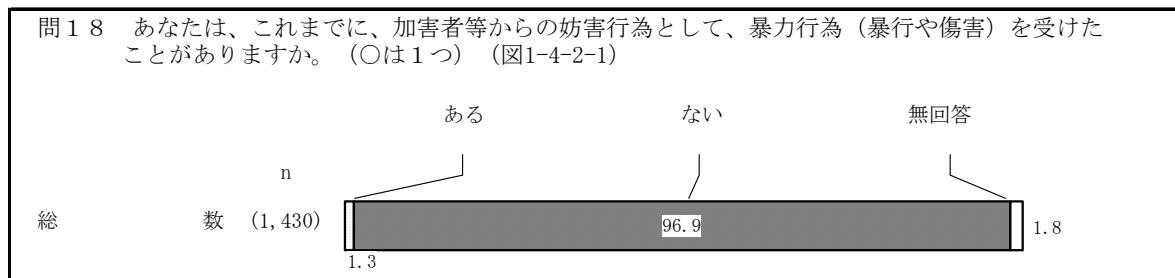
職種別にみると（図 1-4-1-3）、ケースワーカーに、不安になることが『ある』（「いつも」9.6%＋「ときどき」59.9%）という者が7割と、他の職種より多くなっている。

就業形態別にみると（図 1-4-1-3）、加害者等から危害を加えられると不安になることが『ある』（「いつも」＋「ときどき」）という者は、正職員（8.1%＋42.8%）で5割と、他の就業形態よりやや多くなっている。一方、パートタイム職員や外部からの派遣職員では、不安になることが『ある』という者が3割台で、『ない』（「全く」＋「あまり」）と言う者が6割以上となっている。

図 1-4-1-3 加害者等から危害を加えられる不安（職種別、就業形態別）



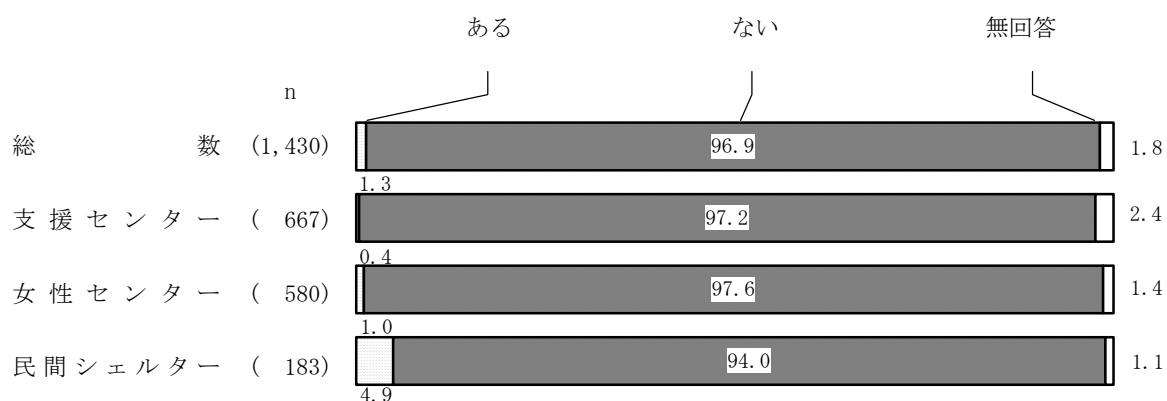
2 加害者等からの妨害行為としての暴力行為



これまでに、加害者等からの妨害行為として、暴力行為（暴行や傷害）を受けたことが「ある」という相談員は 1.3%で、ほとんどの調査員は妨害行為を受けたことが「ない」（96.9%）と答えている（図1-4-2-1）。

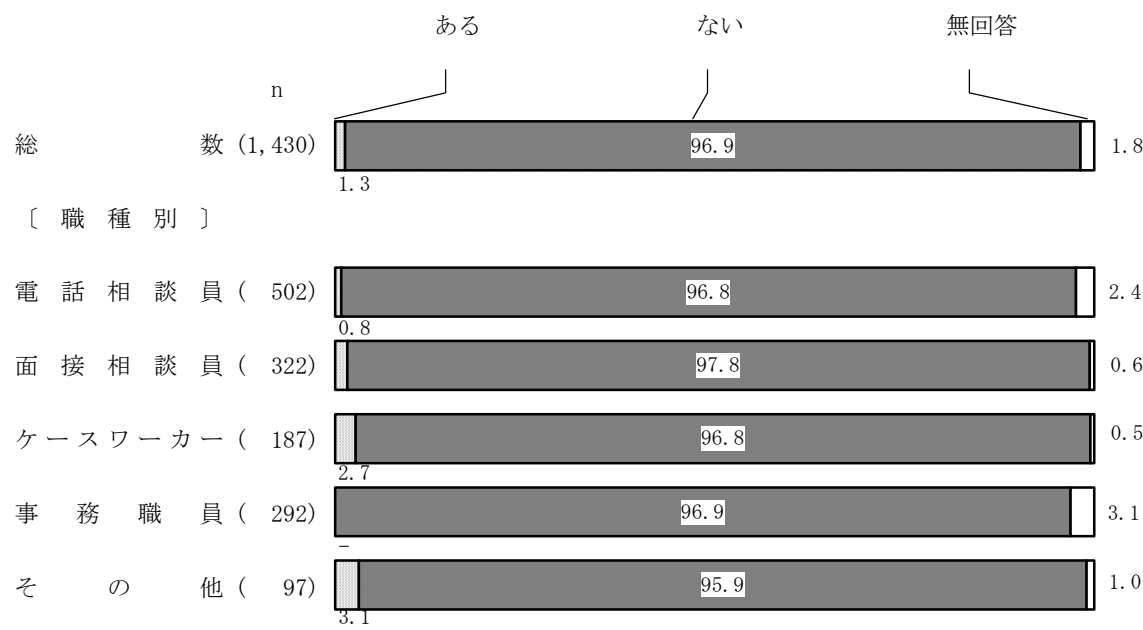
施設属性別にみても（図 1-4-2-2）、妨害行為を受けたことが「ある」という相談員は、支援センター0.4%、女性センター1.0%、民間シェルター4.9%である。

図 1-4-2-2 暴力行為を受けた経験の有無（施設属性別）



職種別にみても（図 1-4-2-3）、大きな差はみられない。

図 1-4-2-3 妨害行為を受けた経験の有無（職種別）



【付問1～5は、問18で「1ある」と答えた方にお聞きします。】

問18付問1 暴力行為は、これまでに何回くらいありましたか。（○は1つ）（表1-4-2-1）

	n	1 回 だ け	2 ～ 5 回 程 度	6 ～ 1 0 回 程 度	1 1 ～ 1 5 回 程 度	1 6 ～ 2 0 回 程 度	2 1 回 以 上	無 回 答
総数	18人	11人	4人	3人	0人	0人	0人	0人
支援センター	3人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
女性センター	6人	3人	2人	1人	0人	0人	0人	0人
民間シェルター	9人	6人	1人	2人	0人	0人	0人	0人

加害者等からの暴力行為を受けたことがある者（18 人）が、実際に暴力行為を受けた回数をみると（表 1-4-2-1）、18 人中 11 人が「1 回だけ」と答えており、「2～5 回程度」が 4 人、「6～10 回程度」が 3 人となっている。

問18付問2 暴力行為をした者は、誰ですか。複数の者から暴力を受けた場合は、あなたにとって最もひどい被害を与えた者についてお答えください。（○は1つ）（表1-4-2-2）

	n	加害者	加害者の家族	被害者の家族	その他	わからない	無回答
	人	人	人	人	人	人	人
総数	18	15	0	1	0	2	0
支援センター	3	3	0	0	0	0	0
女性センター	6	5	0	1	0	0	0
民間シェルター	9	7	0	0	0	2	0

加害者等からの暴力行為を受けたことがある者（18 人）に最もひどい暴力行為をした者としては（表 1-4-2-2）、18 人中 15 人が「加害者」と答えている。

問18付問3 暴力行為はどのような場所で、受けましたか。複数の場所で暴力を受けた場合は、あなたにとって最もひどい被害を与えられた場所をお答えください。

（○は1つ）（表1-4-2-3）

	n	施設内	施設付近の路上	自宅	その他	わからない	無回答
	人	人	人	人	人	人	人
総数	18	6	1	1	8	0	2
支援センター	3	1	0	1	0	0	1
女性センター	6	3	1	0	2	0	0
民間シェルター	9	2	0	0	6	0	1

加害者等からの暴力行為を受けたことがある者（18 人）が最もひどい暴力行為を受けた場所を聞いたところ（表 1-4-2-3）、18 人中 6 人が「施設内」と答えている。

問 1 8 付問 4 暴力行為は、同一の加害者により 2 回以上行われましたか。(○は 1 つ)
(表 1-4-2-4)

	n	2 回 以 上 行 わ れ た	1 回 の み だ っ た	無 回 答
	人	人	人	人
総 数	18	5	12	1
支 援 セ ン タ ー	3	0	3	0
女 性 セ ン タ ー	6	3	3	0
民 間 シ ェ ル タ ー	9	2	6	1

加害者等からの暴力行為を受けたことがある者(18 人)に、暴力行為は、同一の加害者により 2 回以上行われたかを聞いたところ(表 1-4-2-4)、「2 回以上行われた」という者は 18 人中 5 人で、12 人は「1 回のみだった」と答えている。

問 1 8 付問 5 暴力行為について、警察に連絡・相談しましたか。(○は 1 つ) (表 1-4-2-5)

	n	し た	し な か っ た	無 回 答
	人	人	人	人
総 数	18	10	8	0
支 援 セ ン タ ー	3	2	1	0
女 性 セ ン タ ー	6	3	3	0
民 間 シ ェ ル タ ー	9	5	4	0

加害者等からの暴力行為を受けたことがある者(18 人)のうち、暴力行為について、警察に連絡・相談「した」者は 18 人中 10 人で、8 人は「しなかった」と答えている(表 1-4-2-5)。

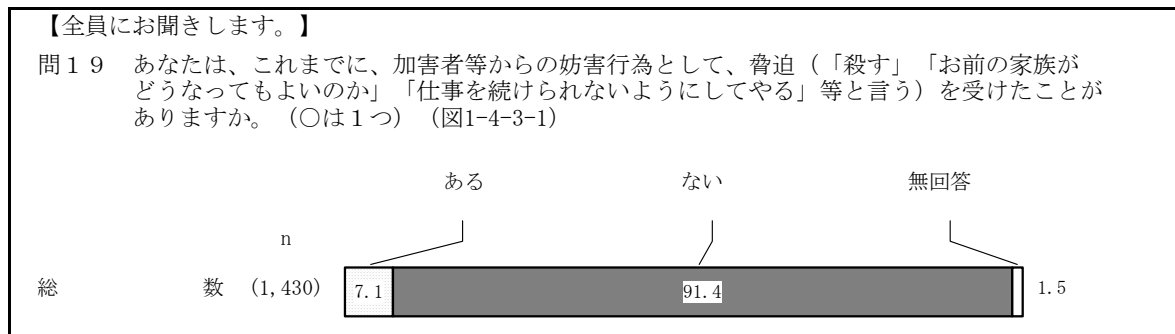
【問 18 付問 5 で「2 しなかった」と答えた方にお聞きします。】

問 18 付問 6 警察に連絡・相談しなかったのは、なぜですか。（〇はいくつでも）（表 1-4-2-6）

	該 当 数	なす警 かる察 つほに たど連 かの絡 ら被・ 害相 が談	かえ者す警 らら等る察 れかるとに るら、連 と危更・ 害に・ つを加相 た加害談	と相 思談 つし たて かも ら無 駄だ	そ の 他	無 回 答	回 答 計
	人	人	人	人	人	人	人
総 数	8	5	1	2	1	0	9
支 援 セ ン タ ー	1	1	0	0	0	0	1
女 性 セ ン タ ー	3	1	1	2	0	0	4
民 間 シ ェ ル タ ー	4	3	0	0	1	0	4

加害者等からの暴力行為について、警察に連絡・相談しなかった者（8人）が、連絡しなかった理由としては（表 1-4-2-6）、「警察に連絡・相談するほどの被害がなかったから」を5人が、「相談しても無駄だと思ったから」を2人が、「警察に連絡・相談すると、更に加害者等から危害を加えられると思ったから」を1人が、それぞれあげている。

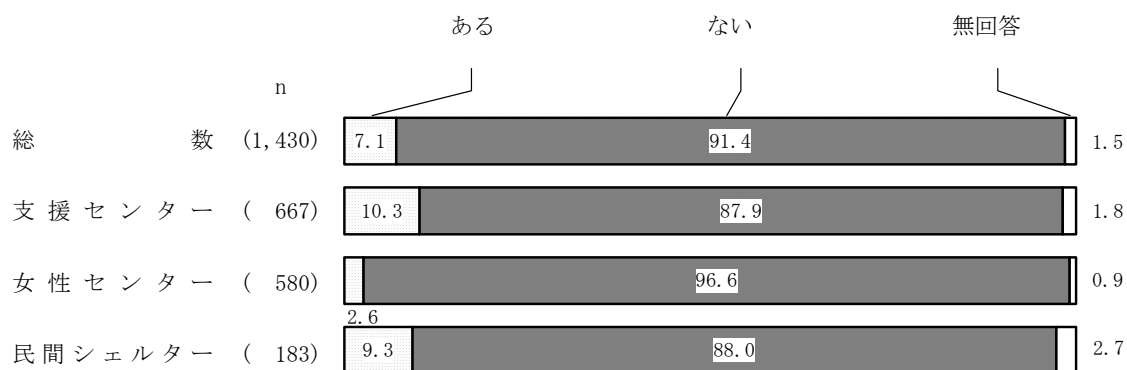
3 加害者等からの妨害行為としての脅迫



これまでに、加害者等からの妨害行為として、脅迫を受けたことが「ある」という者は 7.1%で、9割強は「ない」（91.4%）と答えている（図 1-4-3-1）。

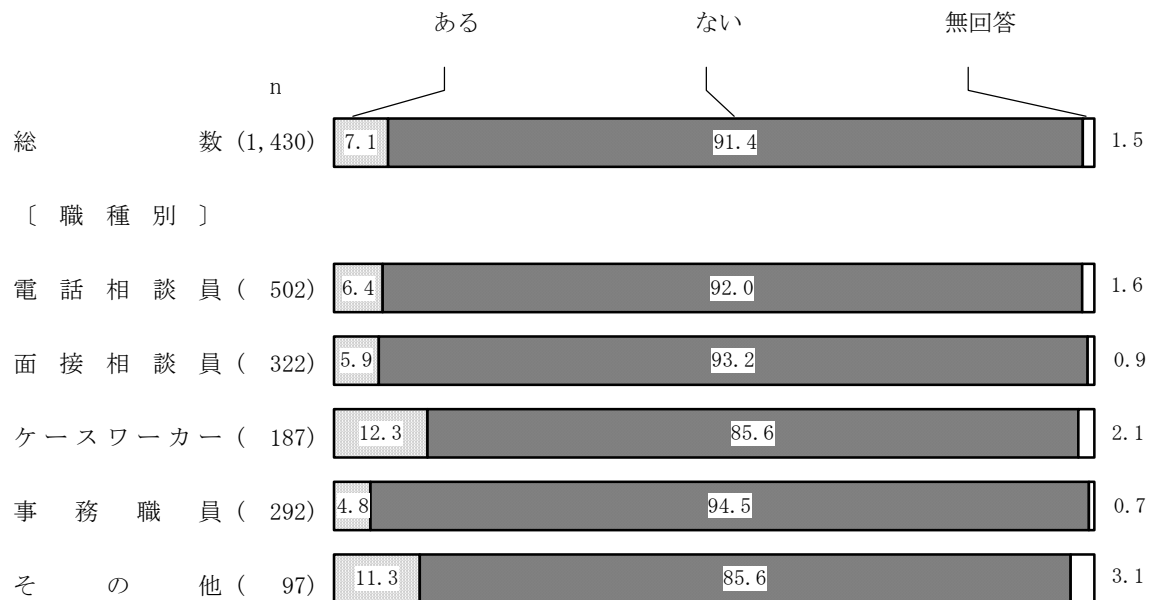
施設属性別にみると（図 1-4-3-2）、脅迫行為を受けたことが「ある」者は、支援センター（10.3%）と民間シェルター（9.3%）で、ほぼ1割となっている。

図 1-4-3-2 脅迫を受けた経験の有無（施設属性別）



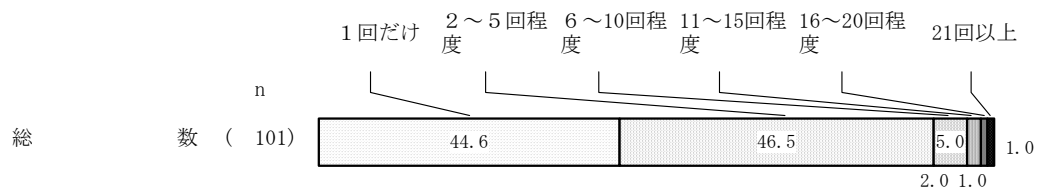
職種別にみると（図 1-4-3-3）、ケースワーカーに脅迫行為を受けたことの「ある」者（12.3%）がやや多くなっている。

図 1-4-3-3 脅迫を受けた経験の有無（職種別）



【付問 1～6 は、問 19 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問 19 付問 1 脅迫は、これまでに何回くらいありましたか。（○は 1 つ）（図 1-4-3-4）

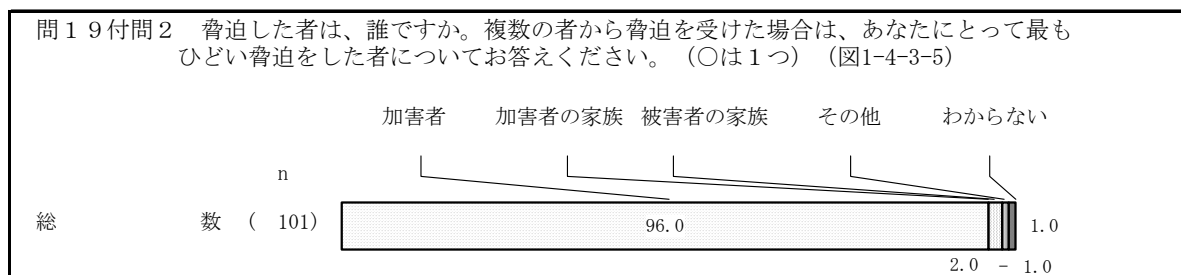


加害者等からの妨害行為として、脅迫を受けたことがある者（101 人）に脅迫された回数を聞いたところ（図 1-4-3-4）、「1 回だけ」（44.6%）と「2～5 回程度」（46.5%）がそれぞれ 4 割台である。

施設属性別にみると（表 1-4-3-1）、支援センタで脅迫行為を受けたことのある者（69 人）の過半数は、脅迫を「2～5 回」（53.6%）受けている。

表 1-4-3-1 脅迫を受けた回数（施設属性別）

	n	1 回 だ け	2 ～ 5 回 程 度	6 ～ 1 0 回 程 度	1 1 ～ 1 5 回 程 度	1 6 ～ 2 0 回 程 度	2 1 回 以 上
	人	人	人	人	人	人	人
総 数	101	45	47	5	2	1	1
支 援 セ ン タ ー	69	25	37	3	2	1	1
女 性 セ ン タ ー	15	13	2	0	0	0	0
民 間 シ ェ ル タ ー	17	7	8	2	0	0	0

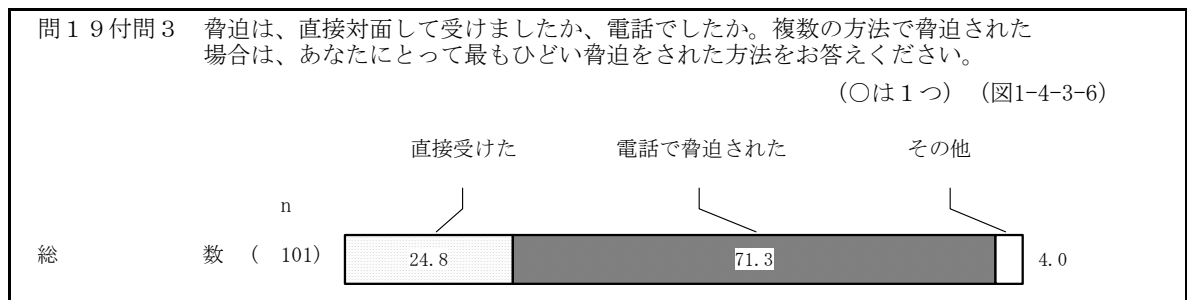


加害者等から脅迫を受けたことがある者（101 人）に最もひどい脅迫をした者を聞いたところ（図 1-4-3-5）、96.0%は「加害者」と答えている。

施設属性別にみると（表 1-4-3-2）、いずれの施設でも「加害者」からの脅迫行為が大多数を占めている。

表 1-4-3-2 脅迫をした者（施設属性別）

	n	加 害 者	加 害 者 の 家 族	被 害 者 の 家 族	そ の 他	わ か ら な い
	人	人	人	人	人	人
総 数	101	97	2	0	1	1
支 援 セ ン タ ー	69	67	0	0	1	1
女 性 セ ン タ ー	15	14	1	0	0	0
民 間 シ ェ ル タ ー	17	16	1	0	0	0

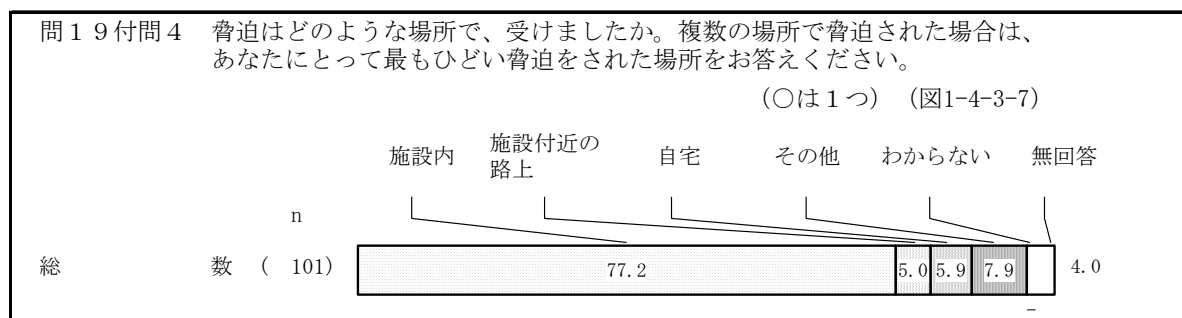


加害者等から脅迫を受けたことがある者（101 人）が最もひどい脅迫をされた方法を聞いたところ（図 1-4-3-6）、「電話で脅迫された」者（71.3%）が7割強である。また、4人に1人は「直接受けた」（24.8%）と答えている。

施設属性別にみても（表 1-4-3-3）、大きな差はみられない。

表 1-4-3-3 脅迫の方法（施設属性別）

	n	直接受けた	電話で脅迫された	その他
	人	人	人	人
総数	101	25	72	4
支援センター	69	16	50	3
女性センター	15	4	11	0
民間シェルター	17	5	11	1

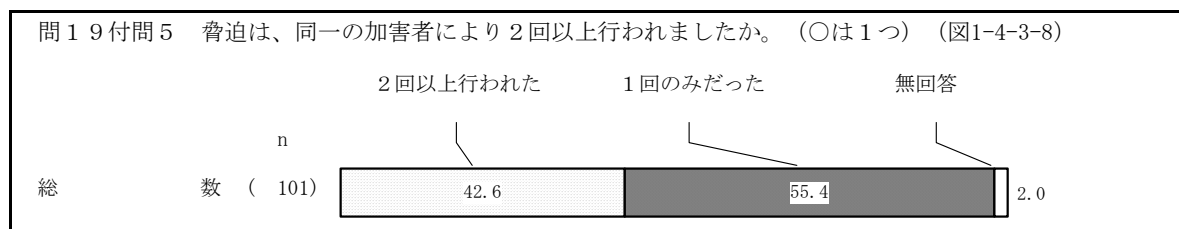


加害者等から脅迫を受けたことがある者（101 人）が最もひどい脅迫を受けた場所を聞いたところ（図 1-4-3-7）、「施設内」（77.2%）という者が8割弱で多数を占める。

施設属性別にみると（表 1-4-3-4）、該当数は 17 人と非常に小さいが民間シェルターで脅迫を受けた者の場合は、脅迫を受けた場所が分散している。

表 1-4-3-4 脅迫を受けた場所（施設属性別）

	n	施設内	施設付近の路上	自宅	その他	わからない	無回答
総数	101	78	5	6	8	0	4
支援センター	69	62	4	0	1	0	2
女性センター	15	12	0	3	0	0	0
民間シェルター	17	4	1	3	7	0	2

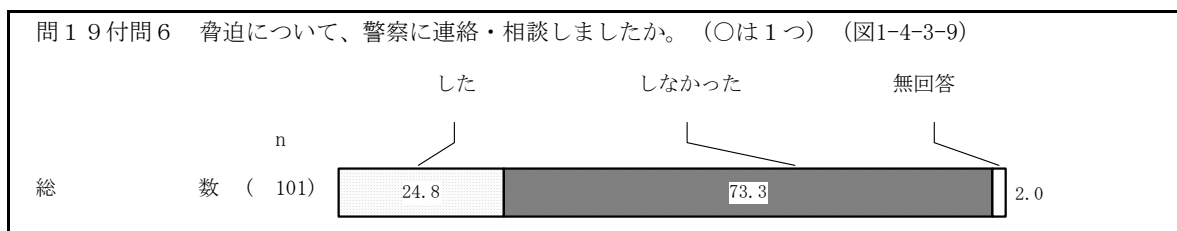


加害者等から脅迫を受けたことがある者（101 人）への脅迫が、同一の加害者により 2 回以上行われたかを聞いたところ（図 1-4-3-8）、「2 回以上行われた」という者は 42.6%で、「1 回のみだった」（55.4%）という者が過半数である。

施設属性別にみると（表 1-4-3-5）、該当数は 15 人と非常に小さいが、女性センターでは脅迫を受けたのが「1 回のみだった」という者が 11 人と、割合が高くなっている。

表 1-4-3-5 同一の加害者による脅迫の回数（施設属性別）

	n	2 回 以 上 行 わ れ た	1 回 の み だ っ た	無 回 答
	人	人	人	人
総 数	101	43	56	2
支 援 セ ン タ ー	69	31	37	1
女 性 セ ン タ ー	15	3	11	1
民 間 シ ェ ル タ ー	17	9	8	0

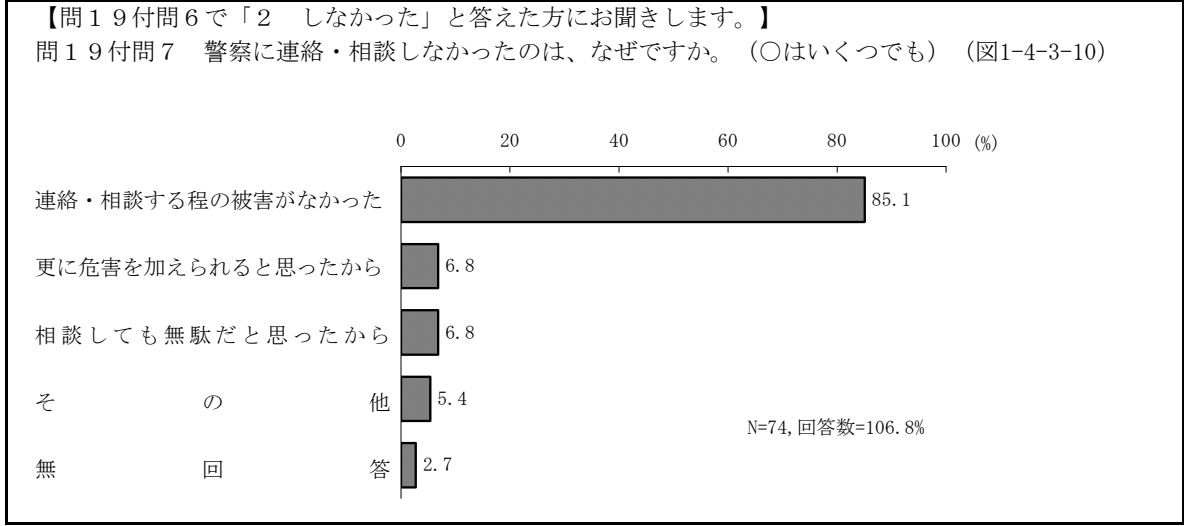


加害者等から脅迫を受けたことがある者（101 人）のうち、脅迫について、警察に連絡・相談「した」者（24.8%）は 4 人に 1 人で、7 割以上は「しなかった」（73.3%）と答えている（図 1-4-3-9）。

施設属性別にみると（表 1-4-3-6）、いずれの施設も、警察に連絡・相談「しなかった」者が多数を占める。

表 1-4-3-6 警察への連絡・相談（施設属性別）

	n	し た	し な か っ た	無 回 答
	人	人	人	人
総 数	101	25	74	2
支 援 セ ン タ ー	69	17	50	2
女 性 セ ン タ ー	15	3	12	0
民 間 シ ェ ル タ ー	17	5	12	0



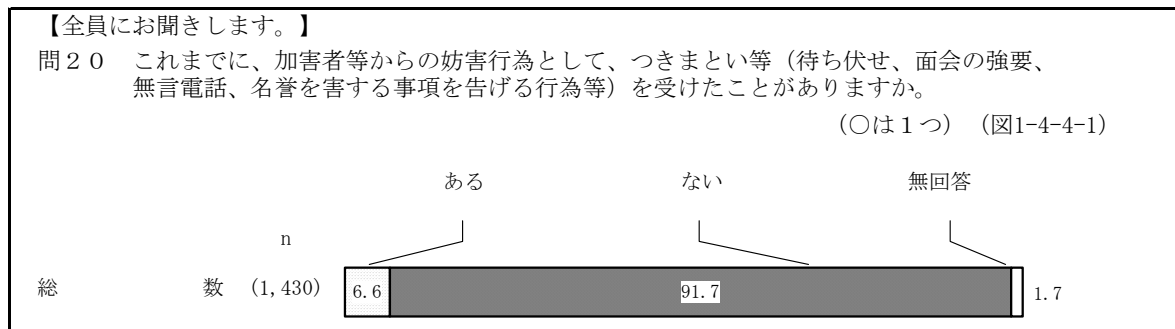
加害者等からの脅迫行為について警察に連絡・相談しなかった相談員（74 人）が、連絡・相談しなかった理由としては（図 1-4-3-10）、「警察に連絡・相談するほどの被害がなかったから」が 85.1% で、際立って多くなっている。

施設属性別にみても（表 1-4-3-7）、大きな差はみられない。

表 1-4-3-7 警察に連絡・相談しなかった理由（施設属性別）

	n	警察に相談するに かほ連絡したの か被害相	被害加害者等と 連絡しなかった から更に危に相	相談しても無 駄だと思った から	その他	無 回 答	回 答 計
	人	人	人	人	人	人	%
総 数	74	63	5	5	4	2	106.8
支 援 セ ン タ ー	50	43	3	0	4	2	104.0
女 性 セ ン タ ー	12	10	2	2	0	0	116.7
民 間 シ ェ ル タ ー	12	10	0	3	0	0	108.3

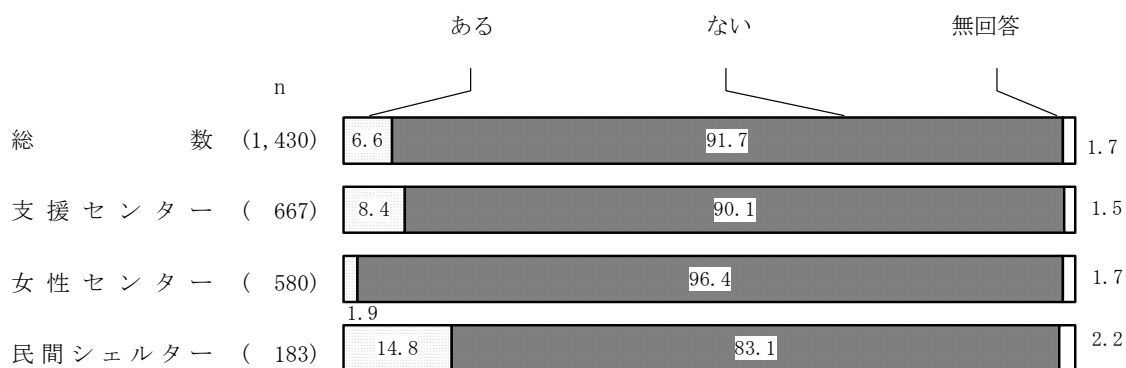
4 加害者等からの妨害行為としてのつきまとい等



加害者等からの妨害行為として、つきまとい等を受けたことが「ある」という者は 6.6%で、9割以上は「ない」（91.7%）と答えている（図1-4-4-1）。

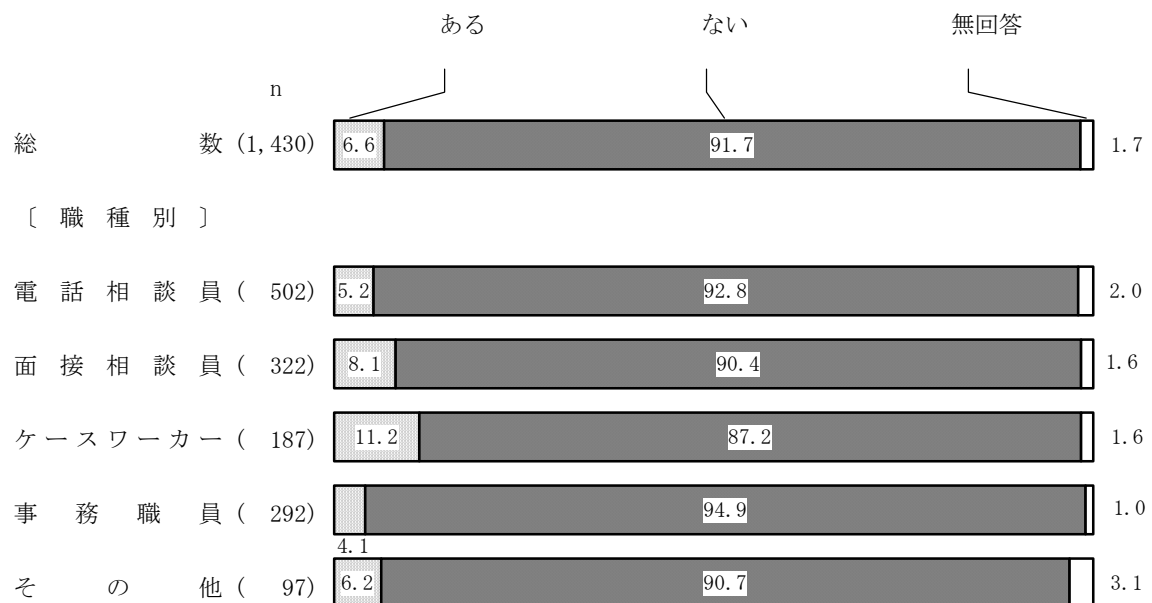
施設属性別にみると（図1-4-4-2）、つきまとい等を受けたことが「ある」という者は、民間シェルターで14.8%と、支援センター（8.4%）や女性センター（1.9%）より多くなっている。

図1-4-4-2 加害者等からの妨害行為としてのつきまとい等（施設属性別）



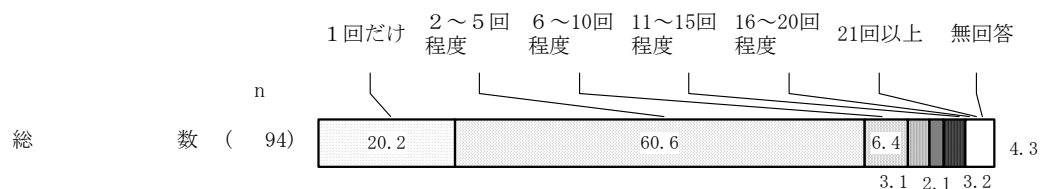
職種別にみると（図 1-4-4-3）、ケースワーカーの相談員に、つきまとい等を受けたことが「ある」者（11.2%）がやや多くなっている。

図 1-4-4-3 加害者等からの妨害行為としてのつきまとい等（職種別）

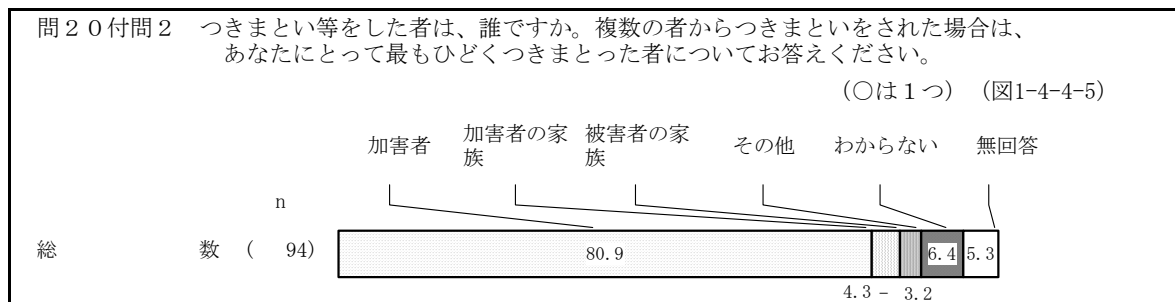


【付問 1～5 は、問 20 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

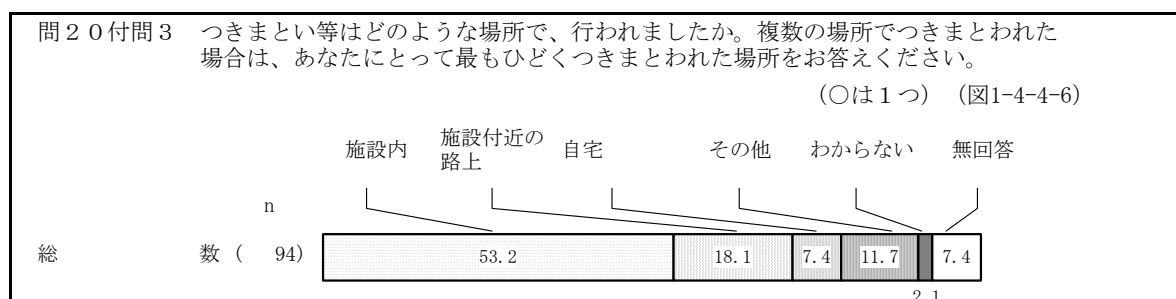
問 20 付問 1 つきまとい等は、これまでに何回くらいありましたか。（○は 1 つ）（図 1-4-4-4）



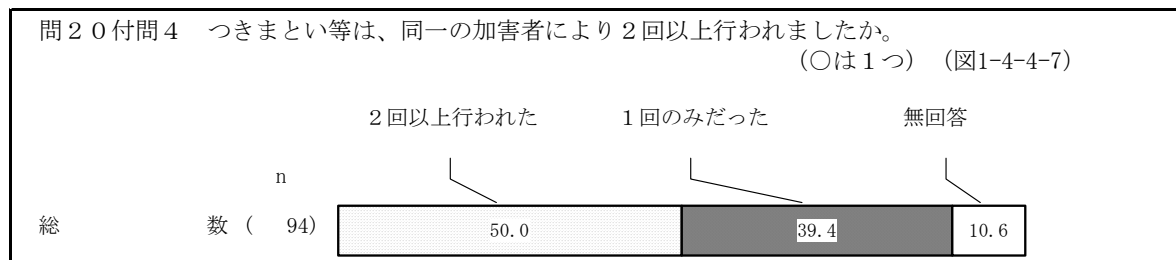
加害者等からつきまとい等を受けたことがある者（94 人）が、つきまとい等を受けた回数をみると（図 1-4-4-4）、「2～5回程度」（60.6%）が 6 割で最も多く、次いで「1回だけ」（20.2%）が 2 割である。



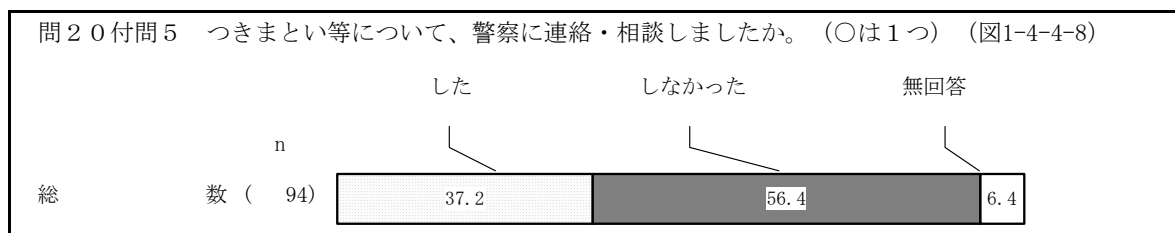
加害者等からつきまとい等を受けたことがある者（94 人）に、つきまとった者を聞いたところ（図 1-4-4-5）、「加害者」と答えた者が 80.9%である。



加害者等からつきまとい等を受けたことがある者（94 人）が最もひどくつきまとわれた場所は、「施設内」が 53.2%で最も多く、次いで「施設付近の路上」（18.1%）が2割弱である（図 1-4-4-6）。



加害者等からつきまとい等を受けたことがある者（94 人）に同一の加害者によるつきまとい等について聞いたところ（図 1-4-4-7）、「2回以上行われた」（50.0%）という者が半数である。



加害者等からつきまとい等を受けたことがある者 (94 人) のうち、つきまとい等について、警察に連絡・相談「した」 (37.2%) という者は 4 割弱で、6 割近くが連絡・相談を「しなかった」 (56.4%) と答えている (図 1-4-4-8)。

【問 20 付問 5 で「2 しなかった」と答えた方にお聞きます。】

問 20 付問 6 警察に連絡・相談しなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも) (表1-4-4-1)

	n	なす警 かる察 つほに たど連 から被・ 害相 が談	かえ者す警 らら等る察 れかとのに るら、連 と危更絡 思害に・ つを加相 た加害談	と相 思談 つし たて から 無 駄 だ	そ の 他	無 回 答
総 数	53 人	39 人	3 人	8 人	6 人	1 人

加害者等からのつきまとい等について、警察に連絡・相談しなかった者 (53 人) が、連絡・相談しなかった理由としては (表 1-4-4-1)、「警察に連絡・相談するほどの被害がなかったから」を 53 人中 39 人があげている。

加害者等から暴力行為、脅迫、つきまとい等の妨害行為を受けたことがあるかどうかを総合してみると（表 1-4-4-2）、『いずれかの妨害行為を受けたことがある』という者は 11.9%で、9 割近くは『いずれの妨害行為も受けたことはない』と答えている。

施設属性別にみると（表 1-4-4-2）、いずれかの妨害行為を受けたことのある者は民間シェルターで 20.2%、支援センターで 15.9%となっており、民間シェルターでは「つきまとい等のみ受けた」者が 7.7%、支援センターで「脅迫のみ受けた」者が 7.0%となっている。

一方、女性センターでは『いずれかの妨害行為を受けた経験のある』者は 4.7%である。

職種別にみると（表 1-4-4-2）、ケースワーカーに『いずれかの妨害行為を受けたことがある』という者が 21.9%と他の職種より多くなっており、「脅迫のみ受けた」者が 9.1%、「つきまとい等のみ受けた」者が 7.5%である。

表 1-4-4-2 加害者等からの妨害行為を受けた経験の有無（施設属性別、職種別）

	n	受 い づ れ か の 妨 害 行 為 を 受 け た 経 験 あ り (計)	暴 力 ・ 脅 迫 ・ つ き ま と い 等 の 妨 害 行 為 を 受 け た	暴 力 と 脅 迫 を 受 け た	暴 力 と つ き ま と い 等 を 受 け た	脅 迫 と つ き ま と い 等 を 受 け た	暴 力 の み 受 け た	脅 迫 の み 受 け た	つ き ま と い 等 の み 受 け た	い づ れ の 妨 害 行 為 も 受 け た こ と は な い
総 数	1,430	11.9	0.3	0.3	0.2	2.0	0.5	4.5	4.1	88.1
〔 施 設 属 性 別 〕										
支 援 セ ン タ ー	667	15.9	-	0.3	-	3.0	0.1	7.0	5.4	84.1
女 性 セ ン タ ー	580	4.7	0.2	0.3	-	0.2	0.5	1.9	1.6	95.3
民 間 シ ェ ル タ ー	183	20.2	1.6	-	1.6	3.8	1.6	3.8	7.7	79.8
〔 職 種 別 〕										
電 話 相 談 員	502	9.6	0.2	0.2	0.2	2.0	0.2	4.0	2.8	90.4
面 接 相 談 員	322	12.7	0.3	-	0.3	1.9	0.9	3.7	5.6	87.3
ケ ー ス ワ ー カ ー	187	21.9	0.5	-	0.5	2.7	1.6	9.1	7.5	78.1
事 務 職 員	292	7.5	-	-	-	1.4	-	3.4	2.7	92.5
そ の 他	97	14.4	1.0	2.1	-	2.1	-	6.2	3.1	85.6

5 これまでに受けた最も危険度の高い妨害行為

【全員にお聞きします。】

問21 あなたが、これまでに受けた加害者等からの妨害行為等のうち、最も危険度が高いと感じた事件はどのようなものでしたか。具体的にお書きください。また、そのときに取った対応、その結果についても御記入ください。（表1-4-5-1）

支援センター	加害者が来所し、暴言を吐いたり、被害者との面会を要求。	67
	電話や手紙による脅迫、追及。	36
	相談員個人を特定した脅迫、追及。	23
	一時保護施設やシェルター周辺での待ち伏せ	22
	被害者への同行時の待ち伏せ、追及。	10
	加害者の脅迫による被害者の発症。	4
	知り合いの女性を使つての、加害者による追及。	3
	被害者の家族に対する追及。	3
	被害者とともに来所。	1
	有力者を介しての追及。	1
女性センター	興信所等による尾行。	1
	加害者が来所し、暴言を吐いたり、被害者との面会を要求。	25
	電話や手紙による脅迫、追及。	15
	相談員個人を特定した脅迫、追及。	10
	一時保護施設やシェルター周辺での待ち伏せ	4
	被害者への同行時の待ち伏せ、追及。	4
	加害者の脅迫による被害者の発症。	1
	知り合いの女性を使つての、加害者による追及。	1
民間シェルター	被害者の家族に対する追及。	3
	電話相談の内容の盗聴。	1
	加害者が来所し、暴言を吐いたり、被害者との面会を要求。	14
	電話や手紙による脅迫、追及。	12
	相談員個人を特定した脅迫、追及。	3
	一時保護施設やシェルター周辺での待ち伏せ	2
	被害者への同行時の待ち伏せ、追及。	7
	被害者の家族に対する追及。	2
	被害者とともに来所。	1
	興信所等による尾行。	1

これまでに加害者等から受けた妨害行為等のうち最も危険度の高いものとしては（表 1-4-5-1）、「加害者が来所し、暴言を吐いたり、被害者との面会を要求」するといったケースが、いずれの施設属性でも最も多くあげられており、次いで「電話や手紙による脅迫、追及」「相談員個人を特定した脅迫、追及」となっている。

具体的な事例は、以下のとおりである。

事例1（支援センター）

内容：加害者が施設に押しかけてきて、被害者との面会を要求した。

対応：守秘義務があり、被害者に関することについては答えられないことを告げた。

結果：それでも居座ったため、警察に通報した。

事例2（支援センター）

内容：施設までの通勤途中、路上で加害者に待ち伏せされた。

対応：一人で帰宅しない、通勤方法を変えるなどした。警察にも通報して、緊急時の対応を依頼した。

結果：収まった。

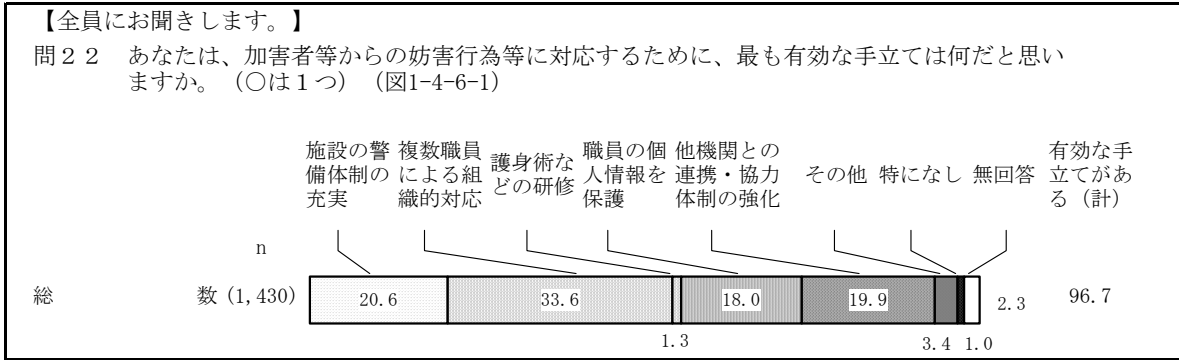
事例3（民間シェルター）

内容：加害者が興信所を使ってシェルターの場所を知り、訪ねて来た。

対応：前日に加害者に居場所が知られたことがわかったので、被害者は夜間に別の場所へ移動した。

結果：事前にわかったので何事もなかったが、移動中にもし加害者が現れたらと強い危険を感じた。

6 加害者等からの妨害行為等に対応する最も有効な手立て

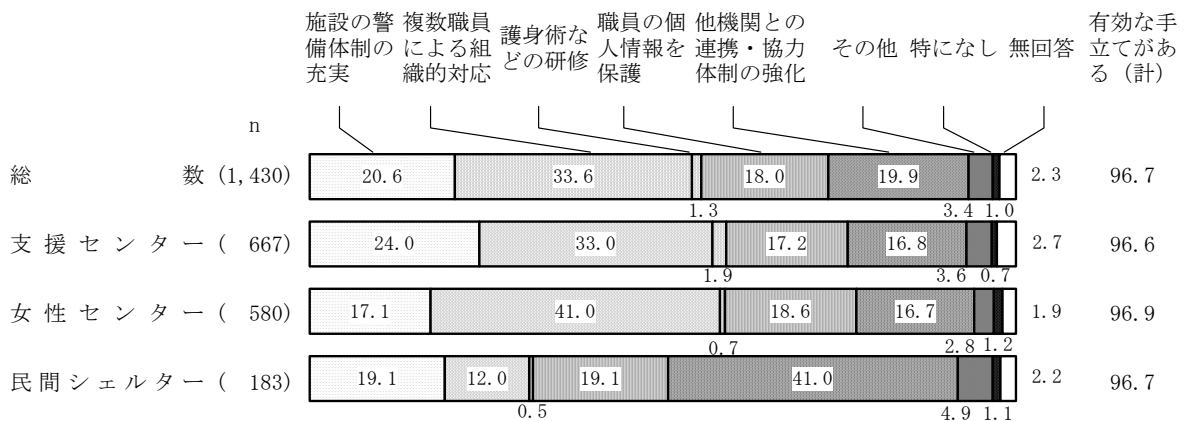


加害者等からの妨害行為等に対応するための最も有効な手立てをあげてもらったところ（図 1-4-6-1）、「複数職員による組織的対応」（33.6%）が3割強で最も多く、次いで「施設の警備体制の充実」（20.6%）、「他機関との連携・協力体制の強化」（19.9%）、「職員の個人情報を保護」（18.0%）の順となっている。

「特になし」という者は1.0%である。

施設属性別にみると（図 1-4-6-2）、「複数職員による組織的対応」は女性センターの相談員（41.0%）に、「施設の警備体制の充実」は支援センターの相談員（24.0%）に、「他機関との連携・協力体制の強化」は民間シェルターの相談員（41.0%）に、それぞれ多くなっている。

図 1-4-6-2 加害者からの妨害行為等に対応する最も有効な手立て（施設属性別）



職種別にみると（図 1-4-6-3）、「複数職員による組織的対応」は面接相談員（39.4%）と事務職員（37.3%）で4割弱と、他の職種より多くなっている。

図 1-4-6-3 加害者からの妨害行為等に対応する最も有効な手立て（男女別、職種別）

